



小学部 五町田小学校との交流及び共同学習を行いました。



10月29日(金)に交流及び共同学習を行いました。今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響で例年6月に実施していた1回目の交流は、自己紹介を兼ねた壁新聞等をお互いに作成する間接交流を行いました。その新聞や手紙などを教室に掲示して会えるのを楽しみにしていました。2回目の今回は、直接交流をすることができました。全体会は、体育館で行っている様子をリモートで各教室等へ配信しました。五町田小学校のマスコットである「ごちよわんこ」も登場し、みんなでダンスを楽しく踊ることができました。その後グループごとにそれぞれの場所で活動しました。自己紹介をした後、ダンスやゲームをして盛り上がりました。最初は緊張していた児童も、最後は「楽しかった!」と笑顔で交流を終えることができました。短い時間でしたが、とても充実した交流となりました。



中学部1、2年生、D課程が職場社会見学に行きました。

10月19日(火)に中学部1年生は武雄市の「ゆめランチ」「みふねが丘」、2年生は鹿島市の「アメリカパン」「鹿島福祉作業所」、D2課程は白石町の「ワン・ハピネス」を見学しました。



「ゆめランチ」では弁当作りと外部委託作業を見学し作業の一部を体験しました。弁当作りの説明では1日に300食作ることを知り、朝早くから働くために早寝早起きが大事であることを知りました。体験では3cm程の小さい釣り針を同じ向きに並べていき、箱に移していく仕事でした。みんな緊張した面持ちで体験に挑み、終わった時には「あ～、疲れた～」という声が聞かれました。



「みふねが丘」では、牛乳パックを材料にした紙作りを見学することができました。見学後、表面シール剥がしや細かくちぎる仕事を全員が体験させてもらいました。細かい作業になる



ため集中して取り組まないといけないことを体験できました。

2年生は真剣に話を聞いたり、質問したりして、将来の仕事に関する大切なことを聞くことができました。

D2課程が行った施設はとても明るくて広く、ゆっくりと施設内を見学することができました。職員の方が丁寧に説明してくださり、しっかり聞くことができました。学校と異なる建物、施設の中でも落ち着いて活動することができました。

自分たちが取り組んでいる作業学習とは異なる仕事を実際に体験したり、初めて行く施設を見学したりすることで学校や家庭より一歩広い社会を知ることができ、生徒一人一人にとって大切なものを得ることができたのではないかと思います。



第15回 とうせん祭

10月1日（金）に秋晴れの中「気持ちを一つに一心同体 協力して大成功を目指す とうせん祭」のテーマのもと、第15回とうせん祭が開催されました。

今年度は新型コロナウイルス対策のためスケジュールを大幅に変更し無観客での平日の開催となりました。

体育館では、同じ発表グループの児童生徒と管理職の先生が参観者でした。中学部・高等部での販売時の買い物客は、それぞれの学部の生徒や先生方がお客様でした。今までとうせん祭を経験してきた児童・生徒たちには戸惑いがあったと思います。その中でも児童・生徒たちは自分の持てる力を十分に発揮してがんばり、ステージ発表や販売は例年に劣らず立派なものになりました。

今回の経験ではこれからの学校生活や社会に出てからの生き方において必ず役立つものになります。また、学校生活の貴重な思い出となる1ページを刻むことができたと思います。一生懸命がんばった児童・生徒の皆さんに心から拍手を送りたいと思います。

小学部



今年も体育館のステージに、小学部による個性あふれる発表が集まりました。今年は第1部と第2部に分かれ、無観客でのステージ発表になりましたが、思い出に残るとうせん祭となるよう各グループが本番に向けて練習をがんばってきました。



体育館での発表練習では、広いステージに緊張する子どもたちも見られましたが、練習を重ねるうちに少しずつ慣れ、本番では今までの練習の成果を十分に発揮することができました。本番を終えた子どもたちはみんないい笑顔で、「先生、楽しかったよ。」といった感想も聞こえてきました。他のグループの発表も電子黒板を用いたりリモート配信の形で、各教室で視聴しました。「次は何グループかな？」と楽しみにしながら、電子黒板に映る他のグループの発表を食い入るように見ていました。



例年と開催形式が異なり様々な制約のある中での開催となりましたが、その中でも全員が力を合わせて取り組んだことで、思い出に残る形でとうせん祭を終えることができました。



中学部



「コロナに負けない、笑顔で一致団結、最後までやる気いっぱい 中学部！」という学部テーマのもと、無観客開催となりましたが、生徒たちはステージ発表と販売会を力いっぱいがんばりました。



ステージ発表の内容は、1年生は夏野菜を育て、収穫し、調理して食べるまでの喜びをダンスで表現しました。2年生は、「佐賀県を知ろう」の学習で学んだ佐賀県の良いところを劇にして伝えました。3年生は、「キラキラしたすてきな大人」になるために、生活単元学習で取り組んだ、マナーアップ学習を“マナーアップ戦隊 キラメイジャー”として動画を作りました。最後には、一人一人が自分の力を信じて笑顔でがんばっていく気持ちを「ピリブ」の歌にのせて伝えました。



販売会は、木工班、窯業班、手工芸班それぞれ生徒たちのオリジナリティー溢れる製品をたくさん販売することができました。販売の際は、商品陳列や会計など割り振られた仕事を精一杯やりとげ達成感を味わうことができたと思います。

とうせん祭の事前・事後学習を通して仲間と共に作品を作り上げ、成功する喜びを感じることができたと思います。仲間との絆を大切に今後の活動も取り組んでいきたいと思っています。

高等部

3年生にとって最後の「とうせん祭」であり、今年もコロナ蔓延防止、感染対策のため無観客での販売会のみの実施となりました。高等部のテーマは「絆を深め 笑顔あふれる とうせん祭」でした。限られた条件の中での開催となりましたが、この逆境に負けることなく、各作業班（農芸班、窯業班、木工班、紙工芸班、布工芸班）で高等部テーマを達成するために、全力で取り組みました。準備の段階では、各作業班で話し合い、販売場所のレイアウトや看板、各係を考え、準備時間も楽しく取り組んでいました。特に商品づくりは最後まで入念なチェックを行い、完璧な状態でお客様の手元に届くよう心掛けました。販売当日は、お客様が来られると、「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」の言葉を発し、笑顔で接客しました。丁寧に商品を包装し、お客様に渡すことで、「ありがとう」と言ってもらえる喜びを体験しました。商品が完売したところもあり、自分たちが育てた野菜や作製



した商品を買っていただける喜びを味わっていました。商品がたくさん売れて生徒たちも嬉しそうでした。また、コロナ感染症対策では、販売場所による人数制限や待ち位置の指定、手指消毒等の徹底や各作業班による開始場所の指定等を行い、一カ所に密にならないよう取り組みました。特に待ち時間もなく、じっくりと商品を見ることができ、全販売場所をスムーズに回ることができました。

「嬉野市塩田町文化祭」へ参加しました。



10月24日(日)に行われた塩田町の「第47回嬉野市塩田町文化祭」に参加しました。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、練習回数も例年より少ない中、短期間でありつつも友達や顧問の先生と一緒に元気に部活動に取り組みました。

本校からは総合文化部の生徒7名が出演し、ステージで「トッピーサンバ」、「パプリカ」のダンスの発表をしました。初めは緊張から表情や動きの硬さも見られましたが、曲が進むにつれて笑顔で楽しくのびのびとしたダンスを披露することができました。練習の成果を十分に発揮し、発表後はみんな満足そうな笑みを浮かべていました。



ステージ発表を通して、地元の方々に本校の生徒の様子を知ってもらう良い機会となりました。今後も可能な限りこのような地域のイベントに参加し、地域との連携を深めていきたいと思っております。



高等部後期就業・施設体験実施状況

高等部では、10月25日(月)から11月12日(金)の期間に、1年生は1～2週間、2、3年生は1～3週間の後期就業・施設体験を実施しました。生徒98人全員が、それぞれの体験先において学校で身につけた力を発揮しました。「就業・施設体験」は、地域の企業や福祉事業所、ご家庭のご理解とご協力があって実施できる行事です。今回は33か所の企業、4か所の就労継続支援A型事業所、30か所を超える就労継続支援B型事業所・生活介護事業所で実施することができました。



1年生は、初めての校外での実習となりました。体験先との事前打合せや実習にかかる事柄の準備等、不安や戸惑いもあったようですが、精一杯取り組むことで前期の校内実習で培った力を発揮し、新しい課題や可能性を見つけることができました。

2、3年生は、就労と卒業後の生活を見据えて、自身の進路について考え卒業後の進路決定に繋げる機会となりました。実習中は体験先の事業所の方から『「体調管理」「挨拶」「報告・連絡・相談」は大事です。』と教えて頂きました。健康への意識向上や挨拶の習慣、場面に応じた相談等、ご家庭と連携を図りながら、社会生活を踏まえた学習活動をさらに充実させていきたいと思っております。



新型コロナウイルス感染症予防対策を含め、保護者の皆様には検温や送迎等、様々な面でご協力をいただきました。ありがとうございました。



うれ特就労フォーラムを開催しました。

11月19日(金)に地域の企業や福祉施設に学校や生徒のことを知っていただくとともに、障害者雇用への理解と啓発を図ることを目的として「うれ特就労フォーラム」を開催しました。地域や保護者の皆さまに生徒のがんばりを見ていただき、有意義な行事となりました。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

相談支援部より

本校では、地域の特別支援教育の推進のために、地域のセンター的機能を果たすべく、教育相談・巡回相談等を行っています。どうぞ、ご活用ください。

相談支援部担当：進藤・浦郷・川崎

TEL 0954-66-4911